

MS-4008

Copilot for Microsoft 365 エグゼクティブ向け の対話型エクスペリエンス

2024 年 5 月

目的

このドキュメントは、MS-4008 – Microsoft Copilot for Microsoft 365 Executive Challenge の指導を準備している Microsoft 認定トレーナーを対象としています。

このコースについて

このトレーニングは、理解と実践的なスキルを高めるために調整された 3 つの包括的なモジュールの構造化された探索を通じて、Microsoft 365 内の Microsoft Copilot の可能性を最大限に引き出すように設計されています。

- **モジュール 1: Copilot for Microsoft 365 の概要** - Copilot の複雑さを掘り下げ、その高度な機能、セキュリティ機能、倫理的な AI 実践に対する Microsoft の取り組みについてのインサイトを得ることができます。このモジュールでは、Copilot がどのように Microsoft エコシステムとシームレスに統合してワークフローを合理化し、生産性を向上させるかを説明して基礎を確立します。
- **モジュール 2: 効果的なプロンプトを作成するためのエグゼクティブ向けガイド** - このモジュールは、Word、PowerPoint、Teams、Outlook などの Microsoft 365 アプリケーション全体で Copilot の機能を最大限に活用するために重要な、効果的なプロンプトを作成する技術を習得することに焦点を当てています。日常業務や意思決定プロセスを変革できる、正確で実用的な結果を生み出す方法を学びます。
- **モジュール 3: Copilot for Microsoft 365 でエグゼクティブの生産性を変革** - エグゼクティブシナリオ向けに特別に設計された一連のユースケース演習で学んだことを応用します。このモジュールでは実践的

な応用に重点を置き、Copilot がどのように複雑なビジネス課題に対処し、エグゼクティブの意思決定を強化するかを直接体験することができます。

トレーニングの一環として、Microsoft Copilot の実際のデモが実施され、実際の環境での実用的なアプリケーションが強調されます。これらのデモでは、Word、PowerPoint、Teams などのさまざまな Microsoft 365 アプリにわたる Copilot の多用途性が強調されます。各デモの詳細な説明は、このドキュメントの「デモ」セクションに記載されています。このアプローチは、Copilot の機能を日常のワークフローや戦略的業務にシームレスに統合する方法について、参加者に基礎的な理解を与えるように設計されています。

対話型エクスペリエンスは、コースの実践的な集大成として機能し、参加者が Copilot の効果的な使い方に没頭できるように設計されています。トレーナーは、セッションに最も適したものを次の 2 つのオプションから選択できます。

- **オプション 1:** 新しい会社や製品を構想し、開発する。
- **オプション 2:** 今後の重要な関係者会議に向けて準備する。

注: これらのオプションの詳細については、このドキュメントの「対話型エクスペリエンス」のセクションで説明します。

トレーニングはグループ ディスカッションで終わります。参加者は、Copilot を日常のワークフローやチーム全体にどのように組み込むことができるかを考えることが奨励されます。このディスカッションは、Copilot の潜在的な影響についての理解を深め、戦略的思考を刺激することを目的としています。さらに、Microsoft Copilot のさらなる探索を促進するために「宿題」の課題が提供され、参加者がセッションの範囲を超えてツールに取り組み続けるようになります。

注: このトレーニングは、Learn.microsoft.com にあるマイペースで進められるモジュールの内容を取り入れていますが、簡潔な 1 時間の形式に合わせて調整されています。この合理化されたアプローチでは、すべてのユニットが詳細にカバーされているわけではありません。代わりに、参加者に必須のスキルと知識を提供する、実践的で魅力的な概要を提供することに重点を置いています。

さらに、このセッションで使用される PowerPoint テンプレートは、講師による指導付きトレーニング (ILT) 形式とは異なります。この調整は、通常の学生対象者ではなく、エグゼクティブやビジネス リーダーを対象とした 60 分間のトレーニングセッションの特定の要件に合わせて行われました。したがって、個別の概要デッキと結論デッキは含まれていません。代わりに、両方の要素が提供される 1 つのデッキに統合され、合理化された集中的なプレゼンテーションを実施できます。

対象者のプロフィール

このエクスペリエンスは、AI を通じて戦略的および運用上の能力を強化することを目指すエグゼクティブ レベルの専門家やビジネス リーダー向けに特別に調整されています。これは、Microsoft Copilot for Microsoft 365 を理解して活用して、生産性、意思決定、組織全体への影響を大幅に向上させたいと考えているユーザーにとって 理想的です。

対象者の前提 条件

このコースの対話型エクスペリエンスを完了するには、各参加者は以下の前提条件を備えている必要があります。

- Copilot for Microsoft 365 を使用するライセンスが付与されている Microsoft 365 サブスクリプション (BYOS) を使用できること。
- Microsoft 365 アプリがインストールされたノート PC またはタブレットを使用できること。
- Microsoft OneDrive アカウント。Copilot では、ユース ケースの演習全体で使用されるファイル共有タスクを完了するために OneDrive が必要です。

このコースを指導するための前提条件となる知識

このコースを適切に指導するには、講師は Microsoft 365 ワークロードに関する実践的な知識を持っている必要があります。また、各 Microsoft 365 アプリで Copilot の使用に熟達している必要があります。最後に、講師はエグゼクティブ レベル (C スイート) の専門家やビジネス リーダーに対してプレゼンテーションを行うことに慣れていなければなりません。

このコースの準備と指導に必要な資料

このコースを準備して指導するには、次の資料が必要です。

リソース	説明
Microsoft PowerPoint ファイル	MCT ダウンロード センター から MS-4008-ENU-PowerPoint.zip をダウンロードします。
変更履歴	MCT ダウンロード センター から MS-4008-ENU-Change-Log.pdf をダウンロードします。
デモの手順	デモは、Microsoft Learn コースのモジュール 3「 Copilot for Microsoft 365 でエグゼクティブの生産性を変革する 」の各演習ユニットで概説されている手順を使用して実施できます。

	デモ用の追加演習は、ラーニング パス「 Copilot for Microsoft 365 ユース ケース を使用して従業員を強化する」にあります。
デモ サンプル ドキュメント	サンプル ドキュメントは、該当する場合、Microsoft Learn の学生トレーニング コンテンツの演習手順内のリンクとして含まれています。すべての演習にサンプル ドキュメントが付属しているわけではありません。これらは、トレーニング 資料をサポートするために必要な場合にのみ提供されます。
対話型エクスペリエンスのプロンプトの例	オプション 1: aka.ms/CopilotEE オプション 2: aka.ms/TeamsEE
参加者トレーニング コンテンツ	コースで取り上げられる各ラーニング パスの詳細については、次のセクションを参照してください。

Microsoft Learn のトレーニング コンテンツ

このコースのトレーニング コンテンツは Microsoft Learn にあります。次の表に、各ラーニング パス (LP) の内訳、それぞれでカバーされているモジュール、Microsoft Learn の各 LP へのリンクを示します。

ラーニング パス	モジュール	Microsoft Learn のオンライントレーニング
コースの概要	N/A	スライドのみ
ラーニング パス 1: Copilot for Microsoft 365 エグゼクティブ向けの対話型エクスペリエンス	モジュール 1: Copilot for Microsoft 365 の概要 モジュール 2: Copilot for Microsoft 365 で効果的なプロンプトを作成するためのエグゼクティブ向けガイ モジュール 3: Copilot for Microsoft 365 でエグゼクティブの生産性を変革する	Copilot for Microsoft 365 エグゼクティブ向けの対話型エクスペリエンス - トレーニング Microsoft Learn

準備タスク

講師は、このコースの指導を準備するために次のタスクを完了する必要があります。

- 以前にこのクラスを指導したことがある場合は、コースの変更ログを参照してください。時間の経過とともにコースがどのように変化したかについての詳細な情報が提供されます。変更ログは、コースのリリースごとに更新されます。

- Microsoft Learn のトレーニング資料のすべてのトピックを確認してください (上記の「必須資料」セクションのリンクを参照してください)。講師はすべてのトピックに精通している必要があります。以前にコースを指導したことがあり、各トピックの知識に慣れている場合は、変更ログに概要が記載されている新しいトピックまたは更新されたトピックに主に焦点を当ててください。
- PowerPoint のスライドを確認します。
 - スライド上にある各話題について説明できるようにします。一部のスライドには、トピックに関連する学習コンテンツのグラフィックスが含まれています。これらのグラフィックスはスライド上に提供されているので、それらを取り上げてトピックの重要な話題を説明することができます。
 - **各スライドの箇条書き項目を、参加者にそのまま読まさないようにしてください。**参加者に自分自身のスライドを読ませるようにしてください。むしろ、箇条書きには、各トピックについて議論する際に注目すべき重要な情報が反映されています。各トピックの「内容」、「理由」、「方法」を説明するには、対象分野の専門家としての経験を活用する必要があります。**これは、箇条書きの話題を超えた真の付加価値を提供する機会です。**
 - PowerPoint デッキの付録は、トレーナーが配信の準備をし、参加者の潜在的な質問を予想できるようにサポートすることを目的としています。これらのスライドは付録内で意図的に非表示にされています。これらのスライドをプレゼンテーションに追加しないことは一般に最善ですが、顧客が見る必要がある重要なメッセージが含まれていると思われる場合は、導入モジュール中にお気軽に含めてください。ただし、選択して、せいぜい 1 つまたは 2 つのスライドに限定してください。さらに追加すると、配信時間が大幅に延長される可能性があります。
- 参加者のトレーニング資料で提供される追加の読み取りリンクとその他のリンクされたリソースを確認します。**この資料から重要なポイントを提示して、講師して提供する付加価値を補完することをおすすめします。**
- クラスの準備をしているときは、実行するデモを決定する必要があります (このドキュメントの「デモ」セクションを参照)。3 つの製品のデモを行う時間があります。クラスにデモを行う製品機能を決定するのはあなた次第です。エクスペリエンスを使用して、デモ プロセス中にキー ポイントを特定する必要があります。**これは、参加者に付加価値を提供するために、主題の専門家としての経験に頼る必要がある分野です。**
- クラスの前に対話型エクスペリエンスオプションを自分で実行して、それらに慣れるようにする必要があります。これにより、参加者が行き詰まった場合に備えて、参加者が支援する準備ができます。
- トレーナー向けトレーニング (TTT) の準備資料は、次のサイトにあります。
 - Microsoft の内部の場合: [エグゼクティブ イメージョン エクスペリエンス \(sharepoint.com\)](#)
 - Microsoft の外部の場合: 2024 年 5 月末までにリンクが追加されます

コース スケジュール

毎日のアジェンダ

次のアジェンダは、各クラスルームでのアクティビティを完了するための推定時間を提供します。ただし、推定時間は、参加者の背景によって異なる場合があります。これは、コースの素材をより速く説明できるか時間がかかるかに影響する可能性があります。

各モジュールの予測される所要時間には、以下を完了するための時間が含まれます。

- モジュールの PowerPoint スライドデッキのプレゼンテーション。
- モジュール 2 のデモ。
- モジュール 3 の対話型エクスペリエンス。

個人的に作成したクラスルーム アクティビティに基づいて、このコースのスライドに含まれていないクラスルーム アクティビティを、または配信を計画していることに基づいて、アジェンダを調整する必要があります。たとえば、以下を提示する予定の場合。

- アドホック デモ
- レビュー アクティビティ
- その他

日	予測される 所要時間	クラスルーム アクティビティ
1	5 分	概要
	10 分	モジュール 1 – Copilot for Microsoft 365 の概要
	10 分	モジュール 2 – デモ
	25 分	モジュール 3 – 対話型の課題
	10 分	グループ ディスカッションと宿題 (参加者のモバイル デバイスに Microsoft Copilot をダウンロード)
合計	60 分	

追加スケジュールに関する考慮事項

この60分間のトレーニング セッションは、学習とエンゲージメントを最大化するために厳しく詰め込まれています。計画されたすべての資料を効果的にカバーするには、トレーニングに割り当てられた 60 分間を完全に利用することが不可欠です。アジェンダは、この時間制限内で包括的な学習エクスペリエンスを提供するように設計されており、参加者が貴重な洞察と実践的なスキルを獲得することを保証します。

デモ

PowerPoint デッキの既定のデモに次のものが含まれます。

- Microsoft Copilot (copilot.microsoft.com)
- Copilot in Word
- Copilot in PowerPoint

これらのデモの目的は、対話型エクスペリエンスの後半で使用されるアプリケーションを実証し、参加者がアプリケーションの機能に精通することです。

さらに、「デモ オプション」とラベル付けされた付録の前に、PowerPoint デッキで非表示にされたセクションがあります。この非表示セクションは次のとおりです。

- スライド 24 は、このドキュメントの「対話型エクスペリエンス」セクションで説明されている 2 番目の課題オプションに対応しています。
- スライド 25 は、顧客に最も利益をもたらすと思われる Microsoft 365 アプリに基づいてカスタマイズするために、意図的に空白のままです。

スライド 14 をスライド 24 または 25 のいずれかに置き換え、顧客の要件を満たすために必要に応じて非表示にしたり、表示したりすることができます。

警告: スライド 25 を選択して、デモ用に独自の製品を追加する場合は、対話型エクスペリエンスと一致しない可能性があることに注意してください。これにより、セッション中に追加の「ハウツー」の質問が発生する可能性があります。

パイロットトレーニング中、各トレーナーは独自のスタイルをデモに導入し、さまざまなプレゼンテーションを実施しました。したがって、デモのための厳格なステップバイステップガイドを提供していません。ただし、モジュール 3「[Copilot for Microsoft 365 でエグゼクティブの生産性を変革する](#)」のいくつかの演習をカバーし、デモの基礎となる広範なステップバイステップの指示を提供しています。これらの演習は関連するコース「[Copilot for Microsoft 365 コースケースを使用して従業員を強化する](#)」で利用できます。

選択したデモで自由に創造的になり、顧客や参加者に利益をもたらすと思われる魅力的なワークフローを取り入れてください。たとえば、マイク機能を使用して Microsoft Copilot と話すデモを行うか、Web バージョンではなく Microsoft Copilot モバイル アプリを強調することができます。選ぶのはあなた自身です。

対話型エクスペリエンス

対話型エクスペリエンスにより、参加者に Copilot for Microsoft 365 を使用した実践的な演習を提供します。参加者が Copilot の特徴と機能を探索できるようにする特定の目的に焦点を当てています。

参加者は、このエクスペリエンスを通じて 25 分間作業を行います。このエクスペリエンスは最初はグループ アクティビティとして考えられていましたが、パイロットトレーニング中に、個々の参加がどのように影響を与えたかを確認しました。トレーナーは、質問を支援し、参加者が関与し、積極的に参加し続けるようにする必要があります。

現在、対話型エクスペリエンスの 2 つのオプションを提供しています。それぞれが 25 分以内に完了するように設計されています。

オプション 1 (既定) – Microsoft Copilot (copilot.microsoft.com): 新しい会社や製品を構想します。あなたの個人的なビジョンと一致する、本物または想像上の業界を選択します。

- Microsoft Copilot を使用してアイデアをブレインストーミングします。
- Copilot in Word を使用して概念を開発します。
- Copilot in PowerPoint を使用してピッチ デッキを作成します。

オプション 2 – Microsoft Copilot in Teams: あなたが選んだトピックに関する会議を準備して、主要な利害関係者の効果的な関与に焦点を当てます。

- Copilot in Teams を使用して、実践的な分析情報を抽出します。
- Copilot in Word を使用してエグゼクティブ ブリーフィングを作成します。
- Copilot in PowerPoint を使用して戦略的なプレゼンテーションを開発します。

重要: オプション 1 からオプション 2 に切り替える場合は、スライド 17 と 18 を「対話型エクスペリエンス オプション」セクションにある非表示のスライド 22 と 23 に置き換えます。使用しないスライドが再度非表示にする必要があります。

ドキュメント管理ワークフロー

パイロットトレーニング中に参加者が経験した最も一般的な問題には、OneDrive でファイルを参照することが含まれていました。次の手順は、参加者が従うべき推奨ワークフローを提供します。これらの手順は、両方のオプションで適用されます。

1. 「Word.new」で「Copilot Research」というタイトルの新しい Word ドキュメントを作成し、OneDrive に保存します (スライド 16 で概説されています)。
2. 出力を Microsoft Copilot から「Copilot Research」ドキュメントに保存します。
3. 新しい Word インスタンスを開き、Copilot を使用して「Copilot Research」を参照してコンテンツを生成します。
4. この新しい Word ドキュメントを「製品リサーチ」(オプション 1) または「エグゼクティブ ブリーフィング」(オプション 2) として OneDrive に保存します。
5. PowerPoint で、前の手順で作成された Word ファイルを参照します。

注: ドキュメントが OneDrive に完全に同期するまでに最大 5 分かかる可能性があるため、手順 4 と 5 の間に遅延が発生する可能性があります。簡単な修正は、Word からドキュメントを直接共有し、共有可能なリンクを PowerPoint にコピーして貼り付けることです。この方法は、ファイルを参照する必要がある任意のタスクにも適用できます。

QR コードとリンク

エクスペリエンス全体を通して、スライド 18 を表示します (このスライドは、オプション 2 を使用する場合は、非表示スライド 23 に置き換えられます)。このスライドには、タスク ノートとプロンプトの例をリンクする QR コードが含まれています。

- オプション 1: aka.ms/CopilotEE
- オプション 2: aka.ms/TeamsEE

トレーニングを配信する前に、これらのリンクをテストし、プロンプトします。これらは、参加者が必要に応じてプロンプトを作成するか、直接コピーすることができる例として意図されています。

最後に、エクスペリエンスのために割り当てられた時間の約 2 ～ 3 分で、2 つの顧客の声を強調するスライド 19 に切り替えます。このスライドを読み上げる必要はありません。代わりに、参加者が希望する場合はそれを読んでもらいます。これにより、グループ ディスカッションにつながります。

グループ ディスカッションと宿題

トレーニングの終わりに、スライド 20 に表示された次の質問で思慮深いディスカッションを行います。「どのようにあなたのチームが Microsoft Copilot を取り入れていることを想像できますか？」

このスライドを表示している間、部屋を歩き回って、各参加者に自分の考えを共有するように勧めます。これにより、参加者は、Microsoft Copilot が毎日のワークフローを最適化する方法だけでなく、チームや組織全体の効率を向上させる可能性も考慮することができます。パイロット トレーニング中に、このアプローチにより、参加者に積極的に関与しました。

セッションのまとめとして、スライド 21 「宿題」を導入します。時間が許せば、参加者のモバイル デバイスに Microsoft Copilot アプリをダウンロードし、提供されているプロンプトの例を調べるようにすすめます。時間が制限されている場合は、参加者が帰る準備をしているときにこのスライドを表示します。どちらの場合でも、参加者にアプリをダウンロードするように指示し、製品との関わりを維持することの重要性を強調してください。

注: Microsoft Copilot アプリの例のプロンプトは、対話型の課題の別名リンクからも利用できます。

フィードバック

このコースでは、作業を行うためのフレームワークを提供しました。時間をかけて準備し、講師だけがトレーニングで提供できる価値について考えてください。これにより、参加者に素晴らしいエクスペリエンスを提供できることを望んでおります。また、フィードバックをお待ちしております。